

第2回再エネ発電事業に関する説明会(豊丘ダム発電所)(2025年3月10日)
ご質問及びご意見等への回答

該当ページ	質問・意見等	回答
p.2	発電所の使用流量が変わらないにもかかわらず、発電能力が向上するとのことだが、従来のままでは問題があったのか。 工事完了後の日常的な維持や管理は、企業局直営で行うのか、あるいは業者に委託して管理するのか。	発電出力については、今回の事業で最新の技術などを用いて出力が向上します。 日常的な維持管理については、北信発電管理事務所が行います。点検については委託業者が定期的に行います。
p.2	ダムと発電所の関係の写真について、発電した水が出る場所は、今までダムのバルブから水を出している発電所の所に白く出ているところか。 発電した電気を送る線は、上にも管理棟とかもあるが、どのルートで行くのか。	水の出る場所はこの写真と同じところ です。発電した電気を送るのは、発電所の左側にある電柱からです。
p.2	発電所は横に併設されているような形で大きくするのか。以前停電があった時は、ディーゼル発電機で自家発電をしてダムの運用に支障がないようにしたと聞いている。事故時の対応時に自分たちで対応できるようになるのか。	発電所は現在の建屋をそのまま使用し、中の機械を取り換えます。 停電時のダム設備への電源供給は、従来通り予備発電設備を使用して電源を供給します。 発電所には、今回新たに停電時に発電所内で使うための電気を発電する機能を付けます。
p.4	地元に住む者だが、大規模停電時に発電して電気供給できるということだが、停電が起きた時は送電は自動で切り替わるのか。	停電したとき、皆様方のお宅に配電線を通して電気を送るのではなく、「安心のコンセント」に電気が送られます。大規模な停電時に皆様に来ていただき、「安心のコンセント」を使っただけのように考えています。
p.4	「安心のコンセント」というのはどこに設置する予定か。	下にある親水公園のトイレの壁の付近の設置を考えています。
その他	ダムの上流域の山林を財産区で管理しているが、上流がどうなっているのかということを確認した上で、年に1回程度上流に目を向けてもらいたい。上流の見学会などを開催してもらえれば、上流がどうなっているのかをよく理解していただけたと思う。検討をお願いしたい。	恵みの水を使わせていただいていますので、須坂市、須坂建設事務所、関係機関と協力しながら進めていきたいと思っています。
その他	売電価格はどのくらいか。	説明会では、2025年度に1kWhあたり23円で売電する予定と回答してしましたが、正しくは1kWhあたり25円です。訂正します。
その他	ダム建設当時は、水利組合とダム管理者との間で契約あるいは協定があったと思うが、発電所が企業局に移管されたことでその協定等の更新をする必要はないのか。	ダム管理者である須坂建設事務所に確認したところ、水利組合と須坂建設事務所の間で結んでいる契約や協定はないと回答がありました。ただし、毎年行われる灰野川水利調整委員会にて、ダム放流量について協議しているとのこと です。 発電所が移管されても、下流への放流量は従来通り須坂建設事務所にて決定し、発電所はその値に従って発電を行いますので、水利組合との間の取り決めに変更はありません。